

お知らせ

看護職員継続教育研修第1回を開催しました

平成25年度CPDプログラム

「看護管理者の経営管理能力を磨く」ことを目指して 第1回「看護管理者に求められる資質」を開催しました

日時：平成25年9月25日（水）午前9時～正午

参加者：248名

1. 開会（挨拶）

熊本県立大学総合管理学教授 荒木紀代子 氏

2. 講演

講師 日本赤十字看護大学 看護管理学教授 鶴田恵子 氏

テーマ「看護管理者に求められる資質」

平成25年9月25日（水）、熊本県立大学中ホールでCPDプログラム「看護管理者の経営管理能力を磨く」の第1回講演会を開催しました。

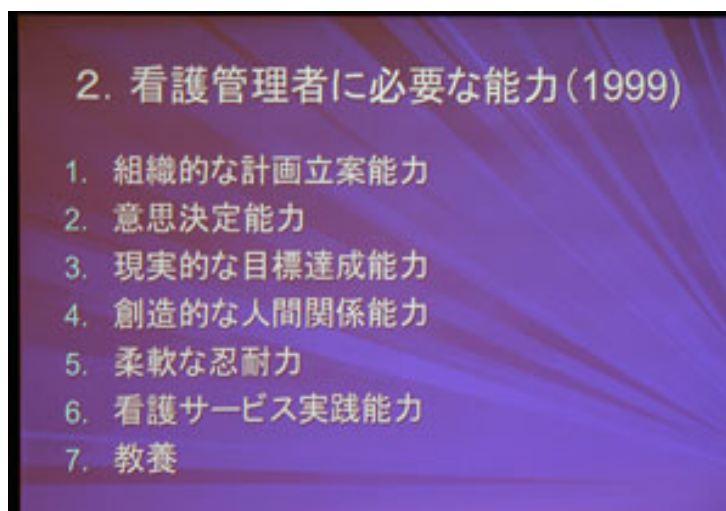
県内全域から248人の看護職が参加し、日本赤十字看護大学 看護管理学教授 鶴田恵子氏にこれからの看護管理者に求められる資質について、実践を踏まえた熱意あふれる講演を聞くことが出来ました。



開会にあたり、当事業プロジェクトリーダーの荒木紀代子教授が当大学のCPDプログラムの説明と講師の鶴田恵子教授の紹介を行いました。



鶴田教授は、医療現場において看護職が副病院長になるなどの組織改革が起こっている、その変革の中で、看護管理者に必要な能力や資質について、聖路加国際病院での臨床経験や横浜市衛生局での行政での経験、東京医科歯科大学病院での実践を例に挙げながらわかりやすく説明されました。



そして、これからの看護管理者に求められる資質について、
?自分の能力を判定し、足りないものを足していく。
?患者に寄り添うのは看護師しかいない。患者に完全に寄り添えるということに価値を見出してほしい。
?現状を把握し、計画を立て、試行錯誤をして見直していくと良い。
?看護師は75歳までしっかり働く。一緒に勉強していきましょう!!
と力強いメッセージをいただきました。

参加者は、病院勤務者が約9割でした。職位は、看護師長と看護主任で8割弱を占めました。参加者の86%が「大いに参考になった」と回答されました。

講演内容について、「これからの時代看護師がどうあるべきか、何を求められているか分かった。管理者としての自分の役割を再認識でき、元気が出た。」「魅力的な病院にするためにどうすればよいか大いに参考になった。」「看護師の確保が困難であるならば、看護補助者を含め

たチームナーシングも一つ。また、中堅ナースに専門性を持たせ育てていく。看護師を取り巻く環境を管理していくことでモチベーションを維持・高めることなど、参考になった」、「大学・大学院等々行こうかなーなど刺激となった」などなど、受講者のそれぞれが刺激や元気をもらわれたようでした。沢山の貴重なご意見を頂き、ありがとうございました。

本件に関する問い合わせ先

〒862-8502（大学専用郵便番号：住所記載不要）

熊本市東区月出3丁目1番100号

熊本県立大学 総合管理学部

看護職員継続教育プロジェクト室

TEL・FAX 096-321-6729

E-mail kango-pj@pu-kumamoto.ac.jp

[↑top](#)

[サイトポリシー](#) | [お問い合わせ](#) | [サイトマップ](#)

公立大学法人熊本県立大学 〒862-8502 熊本市月出3丁目1番100号 TEL 096-383-2929 FAX 096-384-6765

Copyright 2010 Prefectural University of Kumamoto All rights reserved.